



紫陽花に 雫あつめて 朝日かな

加賀千代女

6月は、雨の中あじさいが美しく咲く季節です。

今年の阿弥陀寺のあじさい祭りは、6月1日～6月30日、イベント開催日は6月17日（日）となっています。訪ねてみられたらいかがですか。

ゲームとどう付き合うか

ファミコンというゲーム機が発売をされたばかりの時のことです。

私が、中学3年生の担任をしていた時に、高校入試前の三者懇談で、お母さんから「入試前というのにこの子はゲームばかりして困っています。どうにかならないでしょうか」という相談を受けました。その時に「私が入試が済むまで預かりましょうか」と母親の了解（本人は？）のもと預かりました。それが功を奏したのかその生徒は、見事、高校入試を合格しました。もう、30年以上前の話なのですが、懐かしい思い出です。

ゲームをやった経験のある方は、感じておられることでしょうかゲームには魅力があります。止めなさいと言われても、なかなか、止められないものです。

そこで、ゲームとどのように付き合うとよいかについて考えてみたいと思います。

この生徒のお母さんのように「子どもがゲームをやりすぎて困っている」「なんとか止めさせたい」という思いを持っておられる方は多いのではないのでしょうか。しかし、ゲームはこれだけ発達してきていますし、浸透してきています。これからすぐにゲームがなくなるということは考えられません。これからさらに進んだものが開発され、ますます広まっていくことでしょうか。ゲームの存在自体は悪ではありません。肝心なのはやり方です。ゲームは適度に使用すれば脳の発達を刺激する、また気分転換にもなる等、良い面のことも言われています。

好ましくないのは、自分の部屋に閉じこもり、ゲーム三昧になり、ほかのことに興味を示さなくなってしまうことです。すぎると、視知覚等、健康に大きな影響があることです。これは避けなければなりません。

では、どのようにすればゲームと上手に付き合うことができるのでしょうか。

一つ目は、約束事を親子で決めることです。一緒によく話し合っ決めてみましょう。例えば、「平日や試験期間はやらない」「土、日曜日だけしかやらない」「何時から何時まで〇時間程度でやめる」等を決める。そして決めたことは、自分でそれを守るよう訓練をさせることが大切です。このことにより自主性や主体性が身に付きますし、我慢する力も身につくことでしょうか。

二つ目は、親と一緒に同じゲームで遊ぶということはどうでしょうか。友達を呼んで一緒に行くこともできます。そうすると親や友人とコミュニケーションをしながら行うということもできます。こうすることで、子どもとのゲームの会話でより良い関係も築けるといふ利点もあるのではないのでしょうか。子どものやりすぎも防げるかも知れません。いかがでしょうか。

「ダメだ」とゲーム機を無理やり取り上げるだけでは、最初はしぶしぶ従いますが、そのような方法では、子どもに不信感を与えることになり、親とのより良い人間関係はできません。今一度、ゲームとの付き合い方を子どもと話し合っ見られてはどうですか。